

発行日
令和4年
6月3日
金曜日

ルポルタージュ

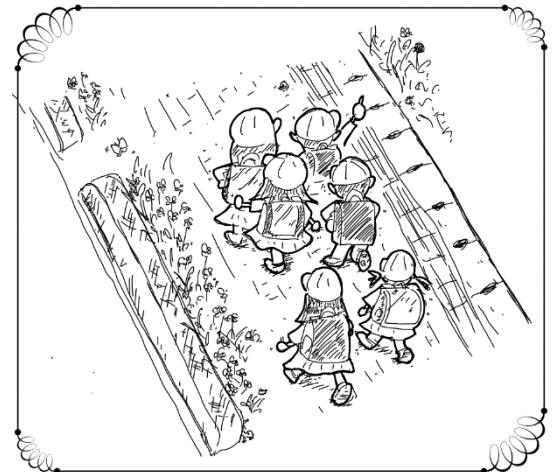
5月号

～随分と生活に慣れてきましたから

GWも終わって、生活も通常に

GWも終わって学校生活もイレギュラーなことがなくなってきて、児童クラブの生活も曜日ごとのルーティンが決まってきました。2年生以上は児童クラブに帰ってくるのが遅い曜日も増えて、「むかえがはやい！」と、錯覚をしちゃう子どももたくさんいます。

外での様子やコロナで学級閉鎖になったときの様子などをお届けします。



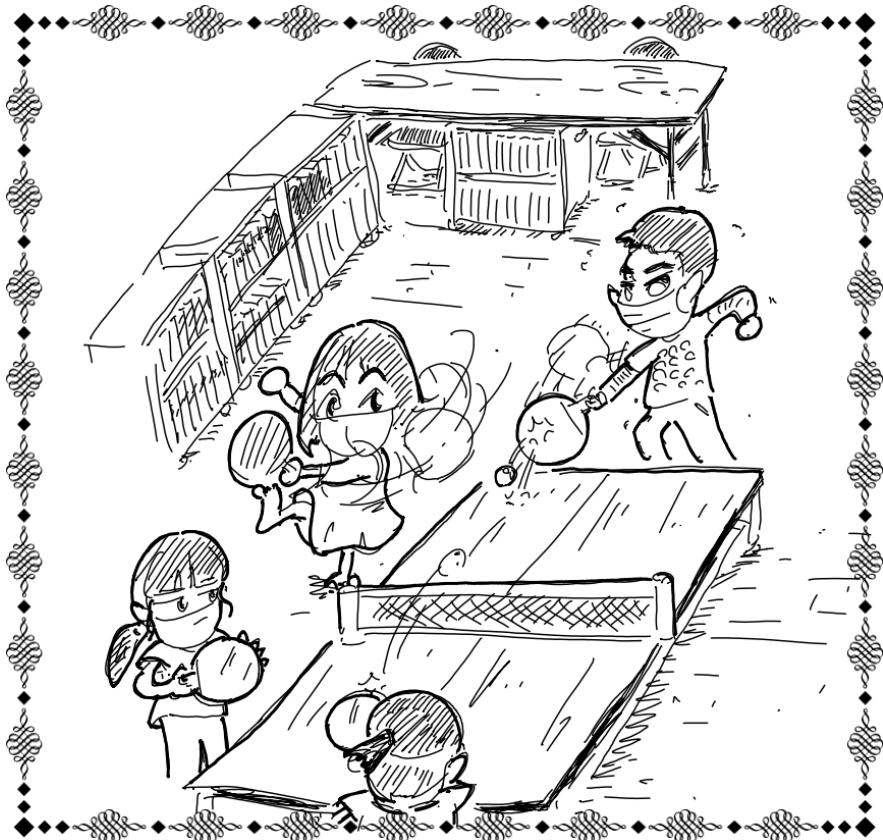
学級閉鎖で少ないときに

～長机卓球～

コロナの学級閉鎖が立て続けに入ったとき、児童クラブに来る子どもの数が少ないときがありました。

せっかくなので、購入していた卓球セットを出して、2つのチームに分かれ対決。高島Tがサーブ。うまく返す男子でラリーが続く。そのラリーの中で、豪快に空振りをする女子。全員で笑っちゃいました。

いつもとは違うメンバーの卓球対決。汗かくほど、やってました。



大規模治水事業



泥だらけになりながら、穴を開けている男子たち。今までに無い水の流れを作ることに、全力を注いでいます。築山を眺めて、どこに新しい道筋を作るか……あれやこれや言いながら、最後は3年男子が決めていきます。決まると、全員で分担して作業に取り掛かる。

「じゃ、取ってくる！」と走りだす水担当。ままごとセットの中からポットを取り出し、水道のここまで走っていく。水をため、山まで持って来て上から流しています。そしてまた、水をために水道まで走っての繰り返し。

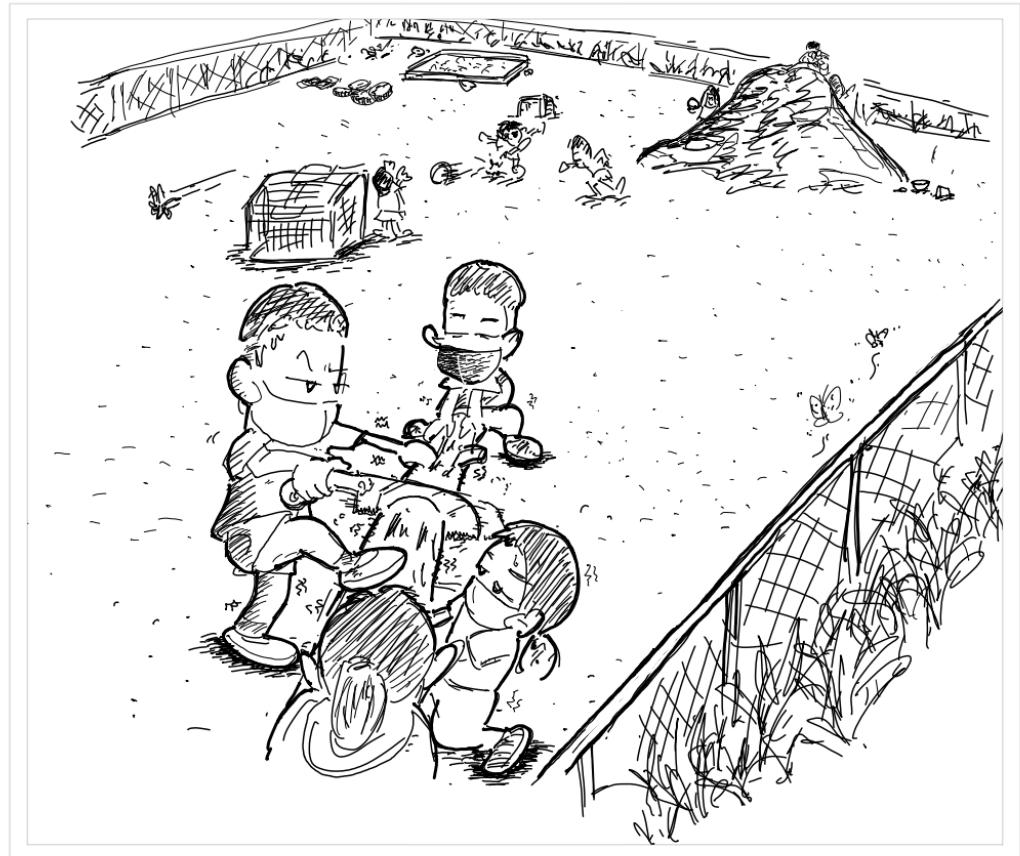
穴掘り担当も、ままごとセットからバケツ・へら・お玉などを取りに走ります。今回のメイン事業は縦穴を通す。上から掘る子、下から掘る子で同時にスタート。でも、築山が固く、なかなか進まない。

「よし、これしてみよ！」と始めたのが、穴に水を流してドロドロにして掘り進める方法。直径30センチほどの穴にたっぷり水をためます。その中にへらを持った手を突っ込む。泥をかきだして、大きい鍋にためていく。ためた泥は堤防を作る材料になる。実に効率的な作業。そんな作業を数日かけて、穴と穴は繋がります。

カブトムシの木

カブトムシの小屋を作りました。その中に入れる木を何とかしたい。学校から児童クラブに帰る途中にあるカブトムシの止まる木が切ってあったので、それを一本いただきました。3年男子に持ってもらい、児童クラブに帰ります。

おやつを食べて、宿題をして、そのあと園庭に木を持って出る。



高島 T 「ほら、切るよ！」

女子 「ほんと?わたし、やったことある。」

男子 「やる！」

小さめののこぎりを用意します。平均台を2つ並べ、その上にカブトの木を置く。のこぎりを男子に渡してスタート。ぎこちない格好で切り始めるので、持ち方、姿勢を教えて再スタート。見ている子たちには、カブトの木を押させてもらいます。でも、表面はすぐに切れるけど、なかなかその先に進まない。

高島 T 「ほらー、迎えの時間になってしまうよー（笑）」

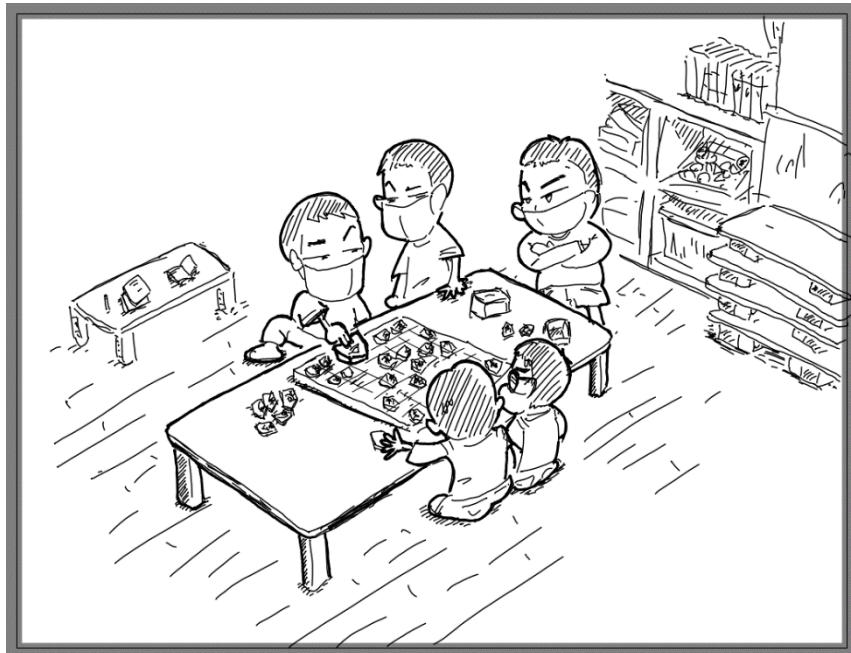
男子 「だってー」

高島 T 「ちょい、かしてみー」

切ってみると、全然切れない。木が乾燥していないので、とても切りにくい。それでも、皆で順番に入れ替わって、切っていく。そして、最後のひと切りを男子がする。カブトの木が2つに分かれる。応援していた子たちも合わせて、全員で…

「やったー！」

将棋みつきっこ名人戦もできるかな



駒に進む方向が書いてあるスタディ将棋を買いました。動かし方が見えるので、初めてでも将棋ができます。それを使って2年男子が将棋をする姿がちらほら見えてきています。

王将の守り方（美濃囲い）を知っている子もいて、それっぽい将棋。

学年を超えて、みつきっこ名人戦が出来るといいなー。

編集後記

2年生になると下校の時間が遅い曜日が増えます。16:05の下校の時は、児童クラブに帰って、おやつを食べて、宿題をすると、17時過ぎてしまうこともあります。そこから、外だったり、部屋の中で遊んだり。迎えに来られるわずかな時間でも、できるだけ遊ぶことができるようになっています。そのわずかな遊びの時間でも、いろんなドラマが生まれるのが児童クラブの生活です。

児童クラブでは、自分の準備は基本自分でしています。片づけや、帰りの準備で、時間がかかることもあります。お迎えラッシュが始まると、どうしてもバタバタしてしまい、忘れ物をしてしまうこともあります。玄関に『7つチェック！』を貼っています。「忘れ物ない？」と聞くだけじゃなく、一つ一つおうちの方も一緒にチェックしていただけると助かります。

忘れがちランキング上位3つ

- ・水筒
- ・帽子
- ・靴下

外遊びの時に、水筒を持って出ています。お迎えが来ると、水筒忘れて児童クラブに戻っちゃうパターンが、この時期増えています。忘れがちな水筒のこと、確認お願いします。

高島 智